

# Handsome

December 2014 No.312

侍魂  
ひとつ

SAMURAI DAMASHII

4th Anniversary

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 後藤太良  
◆編集責任者/担当 副会長 白石博昭 ◆制作・編集 第40期広報委員会/委員長 福山輝展

## 11月例会開催

平成26年11月17日(月)ホテルサンルー  
ト米子において11月例会が開催された。



冒頭の後藤会  
長の挨拶では  
「季節の変わり  
目、体調には気  
を付けて。また、  
11月はいろい  
ろな中央会関連  
事業があるので  
積極的に参加し

て欲しい。」と語られた。

続いて新入会員バッジ授与式が行われ、  
堀尾一仁会員が新たに仲間となった。堀尾  
会員からは「フレッシュな気持ちでいろ  
いろ活動していきたい」と挨拶があった。



今月の委  
員長タイム  
では福山広  
報委員長が

「交通事故  
ゼロへの取  
り組みと自  
動車運転技  
術」について、自社の日産自動車を例に挙  
げて説明された。緊急ブレーキなど技術の  
さらなる進化を目指し交通事故を減らし  
たい。また、車が生み出す地球温暖化等の  
課題に取り組んでいきたいと語られた。

今例会の第一部では「こどもと高齢者の  
融合による相乗効果」と題し、(株)エルフ  
ィス 常務取締役 阿部功平様にご講演い

ただいた。「私たちにかかわるすべての  
人々が元気で健康的な生活を送り、あらゆ  
ることに感謝、感激、感動できる企業にな  
ろう」との経営理念のもと2009年に認知



症デイサービス事  
業をスタートされ、  
現在は主に介護事  
業に取り組んでお  
られるとのこと。ま  
た保育園、フード事  
業も手掛けられ、そ  
れぞれの事業を融  
合することにより、より良い相乗効果が得  
られる。お互いに生きがいや思いやりの心  
をもって生活してもらえるように、高齢者  
と子供たちの交流(ふれあう)の機会をた  
くさん作られているとのこと。また、高齢  
者や子供たちがさまざまな分野のプロから  
習い、発表の場を設けるなど地域ビジネ  
スとのコラボレーションも会社の強みの  
一つでもあると語られた。核家族が多くな  
ってきた現代で「おじいちゃん、おばあ  
ちゃん」とのふれあいから「思いやる心、や  
さしい心」を普段の保育から自然と学べる  
ことは子供の親と  
してとても魅力的  
に感じた。

引き続き第二部  
では「神様から預  
かった社会の財産」  
と題し、里親ファミ  
リーホーム(マザー



ズ・パーム) 施設長 小原幸恵様にご講  
演いただいた。

小原様は長年さまざまな理由で親と一  
緒に暮らせない子供たちの里親として、多  
くの子供たちを育てて来られた。

子供たちが安心して当たり前の生活が  
できる場「家庭」を与えたい。そしてそれ  
こそが子供たち自身が「大人」になってい  
くために必要な生きた教育の場。いろいろ苦  
労したこともあったが、たくさんの素晴ら  
しい出会いがあり、そして応援をいただき  
これまでやってくることが出来た。未来あ  
る子供たちの可能性や夢をつぶさないよ  
う、われわれ企業人にもぜひ応援してほ  
しいと語られた。



小原様が経験された里親と子供たちの  
それぞれの「想い」には胸が熱くなった。当  
たり前に思っ育ててきた環境が恵まれて  
いたことに改めて気づき、われわれに  
は何かできるのか考えさせられる例会で  
あった。

(記事:高野)

## 11月例会を終えて

地域ビジョン委員会 委員長 廣谷 栄一



地域ビジョン委員会の委員長の廣谷です。

この度は(も)、大変高い出席率の例会となりました。

お忙しい中、例会まで足を運んで頂き、地域ビジョン委員会一同感謝の気持ちで一杯です。ありが  
とございます。

さて、今回の例会は、講師先生2名の講演による2部形式とさせて頂きました。

1部は「こどもと老人」について阿部講師、2部は「里子と里親」について小原講師にご講演して頂  
いた訳ですが、1部と2部は一見繋がらないように見えますが、実は共通のテーマがあります。それ  
は「家」であり「家庭」であります。阿部講師の事業に関しても、こどもと老人を組み合わせること  
により如何に施設的环境を家庭環境に近づかせるか、小原さんの事業に関しても親と共に暮らせないこ  
ども達を如何に一般家庭に近い環境に近づかせるかであると思います。私たち中央会は、経営者、後継者及び幹部が集まる団体  
です。経営者として、後継者として、幹部として、如何に企業の従業員を自分の家族のように愛せるかということは、企業を運  
営していくうえで大変重要な要素であります。今回の例会を通して、会員皆さんの意識向上の一助になれば幸いです。

平成26年秋の叙勲褒章受章者として、当会OBの濱田義人様、渡部秀夫様が受章の栄に浴されました。心よりお慶び申し上げます。

きょくじつそうこうしょう はま だ よしひと  
旭日双光章受章 濱田義人OB (第12期ご卒会) 株式会社ホクシン 代表取締役社長  
ずいほうたんこうしょう わたなべひでお  
瑞宝単光章受章 渡部秀夫OB (第19期ご卒会) 有限会社花秀 代表取締役

## 平成26年度OB交流会開催

平成26年11月29日(土)に、クイーンボールにて侍委員会主催でOB交流会が開催された。



開会にあたり、後藤会長より「ボーリングを通じ交流ができ、素晴らしい会になることを楽しみにしている」と挨拶があり、その後、土井OB会長より「中央会は一生付き合いができる素晴らしい会だと改めて感じた。より懇親を深めたいと思う」とお言葉を頂い

た。ボーリングには23名のOBと50名の現役会員が参加し、白熱したボーリングを行った。



表彰式では全OBに趣向を凝らした賞品が配られ、大いに喜んで頂いた。成績

懇親会は会場を旬の旨いもんや海王にうつし、更なる交流を行った。

は、3位が渡辺直前会長、2位に新入会員の堀尾会員。そして栄えある優勝は権田副委員長が獲得した。優勝の弁として、「土井OB会長のプレッシャーに負けないよう頑張りました」と語った。

その後、新入会員自己紹介を行い、最後に拝藤委員長より「無理をして来て頂いたOBの方も笑顔が見られてよかった」とお礼をし、閉めの言葉として門脇浩二OBより「40周年事業お疲れ様だった。ボーリング楽しませてもらった。ありがとう」とお言葉を頂いた。

拝藤委員長を始め侍委員会の努力により、普段あまりお会いできないOBとも会え、有意義な交流会となった。(記事:桑本)

## 親睦交流事業に参加して

窓の外は未だ薄暗い朝の6時半、拝藤委員長より「今日は上靴持参でお願いします。」とのモーニングコールが届きました。当初の予定ではソフトボールを通じて親睦を図る予定だったのですが、あいにくの天気のため、体育館でソフトバレーボールをするに変更になったのです。



後藤会長によって当会は3つのチームに編成され、試合が始まりました。私の所属したCチームは第1試合だったのですが、朝早い時間帯で、みんな体が動かなかったせいもあってか(?)早々に負けてしまいました。しかし、2試合目には勝利

セットまでもつれ込む熱戦が繰り広げられましたが、MVP受賞の山口委員長の活躍もあって、見事、優勝を飾りました。その後の懇親会では、新入会員紹介の時間を設けていただき、東部、中部の皆さんへ自己紹介もさせていただきました。

県の交流行事に初めて参加させていただきましたが、普段の委員会や例会とは異なり、スポーツを通じて交流するという楽しい時間でありました。最後に参加された皆さま、準備に携わってこられた皆さま、おつかれさまでした。



(記事:侍委員会 堀尾裕之)

## 鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会スポーツ交流会

11月24日(月)、福生体育館にて行われた青経連平成26年度事業スポーツ交流会「がいな縄飛び選手権」が行われました。私も含め、半数以上の会員が11月22日(土)に行われた中海圏域青年経済団体交流事業の筋肉痛を抱えながらの戦いです。

開会式では、米子JCの山本理事長より「昔から運動は大の苦手ですが、大人になってからは運動をする機会もなくなり、楽しめれば良いかという気持ちで中央会さんのゴルフコンペ等参加させていただきました。運動が得意な方、苦手な方があると思いますが、交流の場として楽しんでいただけたらと思います。」とご挨拶がありました。

TSC3チーム、米子YEG2チーム、米子JC1チーム、境港JC1チームと、約10名~15名ずつで7チームが編成さ

れました。「跳んだ回数×人数」のポイントと、外のメンバーと入れ替わったときのポイントの合計を競います。各チーム、基本人数を何名にするか、どれだけ効率よく入れ替わるかの作戦を練り、競技に臨みました。しかし体力は計算通りにはくはずもなく、制限時間3分内の後半はほとんどポイントの稼げないチームもあり、競技終了の合図とともに倒れこぼ姿が続出するという光景もありました。



そんな中、長谷川副会長率いるチーム「TSC3」が1,040点という高得点を叩き出し優勝。私もこのチームの一員でしたが、前半約1分、誰もひっかからなかったため、私は恐怖でいっぱいでした。途中でギブアップした私と交代してくださった先輩方の優しさに分れ、チームプレーの喜びを改めて感じた交流会でした。

(記事:北島)



# 平成26年度中海圏域青年経済団体交流事業 ～大人の本気の運動会～

総務委員会 副委員長 権田和志

11月22日(土)『平成26年度中海圏域青年経済団体交流事業～大人の本気の運動会～』が米子産業体育館にて開催されました。TSC43名、松江YEG33名、安来YEG7名、計83名の方に参加して頂きました。



当日は天気も良く、絶好の運動会日和(室内開催でしたが…)となりました。福本会員と森下会員の「妖怪ダンス」にて火蓋をきり、大縄跳び、綱引き、借人競争、相撲、全員リレーと各団体による混合チームにて点数を競い合いました。

序盤は安来YEG西村キャプテン率いる白チームが首位を走っていましたが、最後の全員リレー特別ル

ル(岩田剛審判部長考案)にて、安来YEG前田キャプテン率いる赤チームの大逆転優勝となりました。

会場は熱気と笑い声に溢れ、チームメンバー同士が団体の枠を超えて歓喜している姿が多く見られました。この交流事業を通じ、お互いの顔と名前を知るきっかけ作りとなり今後繋がる事業になったと思いました。



最後に、当日運営して頂いた総務委員会メンバー、松江YEG秋鹿委員長、安来YEG加納委員長に深く感謝致します。有難うございました。

イサオ&トッシーが巡る

## ぶらり男二人旅

新企画 鳥取県西部の名所を広報委員会のプリンスイサオ&トッシーが巡る“ぶらり男二人旅”のスタートです。



記念すべき第一回は第39期ご卒会 須山裕文OBに案内して頂き、淀江の名所を巡りました。まずは妻木晩田遺跡へ向かい、古代文明に触れ絶景に感動し、(米子市内が一望でき、イチ押し!!)須山OBの楽しい話を聞いて3人で記念写真を一枚!! 続いて上淀廃寺跡、サイノカミさん、天の真名井へ。皆様はサイノカミさんってご存知ですか? 淀江等の伯耆地方では色々な願いを叶えて下さるありがた

い神様で、ご神体に男女の神様を彫ったものが多いことから縁結びの神様と言われているそうです。独身の私は何度も来たりしました!(^^)! (ミカ&ミッチーにもおススメです。)

天の真名井ではとてもおいしくきれいな水を頂きました。名水百選の一つでやわらかく、飲みやすい水です。清流と風情のある景色も素晴らしいさすがに、広く名前の知れ渡った場所でした。

今回のぶらり旅では、須山OBの歴史認識の奥深さと、地元愛にあふれたユーモアたっぷりの語り口がとても印象的でした。本業は“ガイドさん”ってぐらいの詳しさでただただ感嘆しっぱなしでした。須山OBお忙しい中本当にありがとうございました。

(記事:イサオ(石原効) トッシー(福島利幸))

## 独者、〇〇が好いてござる!

### 「釣り」

政治行政委員会 角田昭生

釣りは歴史が長いので、うちくが数々ある中の一つ、言い訳のように使われる有名な中国古諺による格言があります。

- 「一時間、幸せになりたかったら酒を飲みなさい。」
- 「三日間、幸せになりたかったら結婚しなさい。」
- 「八日間、幸せになりたかったら豚を殺して食べなさい。」
- 「永遠に、幸せになりたかったら釣りを覚えなさい。」

なるほどと感ずる言葉です。

釣りとは、道具を選ぶ楽しみがあり、魚を釣る楽しみがあり、新鮮な魚を食べる楽しみがあり、3倍楽しめる趣味だと思っております。

また、自然が相手なので、風向き、潮の流れ、天候等が違い2度と同じ条件で釣行できることがありません。その時の状況に合わせないと魚に出会えないという難しさもあります。

釣果は「運」もあるでしょうが、せっかく釣った魚が逃げないように、釣り糸はしっかりと結び、魚が逃げようとするときには何とか耐えられる事を、怠らないようにしております。

夢は、自分の体重より重い魚を釣ることです。

最後に、『漁師の精神を学ばなければいけない。漁師は釣れなければ、狙う魚を変え、道具を変え、場所を変える。いつも同じところにじっとして、「魚が無いね」と嘆いているだけではダメだ。』本当に、よい言葉です。



風の日の海上は爽快です



たまには、大鯛も

これは



おススメした人 小谷泰樹会員→おススメされた人 村田博会員

水戸黄門の放送終了以来、時代劇シリーズがTVから消えて久しいですが、残虐そして痛快を極めた本作はエンターテインメントとしての時代劇の素晴らしさを思い出させてくれます。時代劇は道具や撮影セットの制作から役者の立ち回りまで職人技術の粋を集めた、いわば我が国の伝統芸能。その伝統が途絶えることのないよう、微力ながら広報活動に勤しんでまいりたい、と思います。

(小谷)

『十三人の刺客』(2010年日本)

地域ビジョン委員会 村田 博

皆様、【13人の刺客】という時代劇映画を御存知でしょうか?

1963年に上映されたものを三池崇史監督により、2010年にリメイクされた、かなりグロテスクで何か体の底から怒りが込み上げてくるような映画です。しかしながら、BGMは爽快で登場人物もとてもおもしろいキャスティングになっており、最後には気持がスーッとなる作品です。ここで作品の内容を大まかですがご紹介致します。

時は江戸時代後期の弘化元年(1844年)。將軍の異母弟にあたる明石藩主松平齊詔は暴虐・無法の振舞い多く、明石藩江戸家老間宮図書は老中土井大炊頭屋敷前にて切腹、憤死した。幕閣では大炊頭を中心に善後策を検討したが、將軍の意により、齊詔にはお咎めなし、となった。齊詔の老中就任が来春に内定していることを知る大炊頭は、やむなく暗黙のうちに齊詔を討ち取することを決意し、御目付役の島田新左衛門を呼び出した。新左衛門は大炊頭の意を受け、自身を含めて13人で、参勤交代帰国途上の中山道落合宿にて齊詔を討つことにした。

というような内容です。ぜひご覧になって下さい。

\* 過激な場面が御座いますのでお子様はご遠慮下さい。\*

ちなみに私は、13番目に加わった刺客がとても痛快でした。



## 実は…こんな仕事です

オーエスサービス株式会社  
荒川秀光 会員（総務委員会）

みなさん、こんにちは。総務委員会の荒川です。オーエスサービスって、何をしているの？と思われる方は、たくさんおられるようですが、Oil（石油）とStone（石）を組み合わせて、OS（オーエス）と名付けられたものであり、主に不動産賃貸および建設機械のリースを行っております。

じゃあ、あなた自身は何をやっているのか、仕事しているのか、ボディがちょっと太っているのではないか、ということで、今回のハンサム記事依頼になったのだと思いますが、いわゆる、業態転換を遂げる前の秘密のお仕事をしているわけですよ。それをおいそれと公開できる訳じゃあないじゃないですか（声：ウイスパーの逆切れバージョン）。



落ち着いて、写真を見てください。バックホーや4tトラックのメンテナンスをしたり、ある時には大型トラックで木材を運搬したり、また、テナント店舗のアフターケアや、駐車場の整備、そして、別の時には墓石屋さんとして、お墓の設計、ご相談にも応じております。倉吉には石材工場や大きな石の原石もあります。この物件は、今後、どうするの、という案件が弊社にはいろいろございますが、私自身としては、ようやくこの頃になって、泣いても笑っても、すべて自分が原因で、すべて自己責任となることを意識せざるを得なくなりました。だから、自分の「思い」は大切にしたいと思ひますし、本物の「思い」になるよう、ちょうど、ごつごつの原石をきれいな表面へ磨くように、「思い」を研磨してゆきたいと思ひます。

ご縁がございましたら、みなさま、よろしくお願ひ致します（以上、墓石屋さん風にまとめました）。

## 今月のベストショット



T S C屈指の名取組の結果…



中海圏域4兄弟



O B 交流会記念撮影

### 〈新入会員〉

（任委員会）



ほり かず ひと  
**堀尾 一 仁** B型  
（株）堀尾建築設計事務所 専務取締役  
建築（設計）・及び監理  
〒683-0801 米子市新開6-13-29  
TEL 22-6866 FAX 22-6889  
(KT) 090-3507-5283  
(EM) h-arch-00@sea.chukai.ne.jp  
岩田（剛） S 52.02生

〈コメント〉この度入会させていただきました堀尾一仁と申します。気持ち新たに、新鮮な視点で様々な活動に取り組んで行こうと思ひます。

また活動を通して、多くの方からたくさんの刺激をいただきエネルギーにしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 編集後記

ドラマ「さよなら私」はよくできた話だ。40代の女の気持ちを丁寧に描いている筋書きがまず良い。主演の永作博美と石田ゆり子、タイプの異なる2人のいい女がこれまた良い。そして何より藤木直人のファッションがすこぶる良い。みんなも勉強してください。  
（広報委員会 松本誠二）

### 12月役員会報告

12月役員会が平成26年12月1日（月）海潮園にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです

- ・11月例会開催報告の件
- ・12月例会の件
- ・その他

\*なお、詳細につきましては、各委員長までご確認下さい。

### 12月例会のご案内

と き：平成26年12月15日（月）19：00～21：00

と ころ：ホテルサンルート米子

内 容：講演・演習

『コーチングを活用した

ビジネスコミュニケーション力向上セミナー』

講師 株式会社ライブリッジ

代表取締役 吉岡久美子氏

担 当：第40期 ○○委員会